

# 学校、勉強についての 色々な違い

佐々木 絢音

福井野中学校

## 1. 理由

まず理由としては、なかみかに行く事ができない、シンガポールの学校へ行く事ができたので、学校での違い。

あと勉強での違いというのは、日本と同じ島国にもかかわらず、シンガポールの人々は、英語と中国語は確実にはなすことができ、しかも、今回のプログラムで出会った同じ中学二年生の子たちは、ほとんど使わないであろう日本語を勉強しているという事だったので、何らかの違いが、勉強でもあると同.たので、この2つを書いてみたいと思います。

## 2. 学校の違い

まず学校の入玉さが全く違いました。あとは、食堂があたり、しかも、その食堂の中には、マシ料理や、日本料理、韓国料理、中国料理など、たくさんの国の料理がありました。これは、たくさんの国の人がいるシンガポールだからこ.とだと思いました。あと、学校が始まるのが、とてもはやくて8時くらいで終わるのが2時くらいに終たり、他には、朝、学校が始まるときに毎日、国歌をうた.たり、シンガポールの独立記念日には、学校では、日本の文化祭みたいな、ステージがあ.たりと、学校からも、シンガポールの人々が自分の国を愛している、ということが伝わってきました。私の友達などに今回学校に行.てシンガポールの学校などの違いなどを伝えてや.と、今回私が学校に行.た意味があるのかと思.うので、伝えていきたいです。

### 3. 勉強の違い

まず、日本より言語学についての強化がとても多いと感じました。例えば、日本だと英語の授業でも、ほとんど英語をはなしたりはせず、文法などの、紙の上で英語を使う事の方が多いです。しかし、シンガポールでは、最初の号礼から終わりの号礼まで全て、学校では、第一言語向である英語ですが、中国語の授業の時は、全て中国語でした。しかも、あまり紙などに書くのではなく、コミュニケーションをとるという方を優先していたように感じました。あとは、言語を学ぶ事での王の施設があるというのも大きな違いでしょう。しかも、そこは、2回学校に行くような感覚だという事でした。でも私のバディになせ日本語を勉強しているのかと聞くと、「楽しいから」と返ってきました。日本では、楽しいから女子だけからとかいうのではなく、強制的に英語などを勉強しています。しかしどうしてではなく、英語をコミュニケーションツールとすればいいなと思いました。

私は今回シンガポールに行けてとてもよかったです。初めての海外で、自分の英語が通じるのか！学校行くと王にはなじめるかなど、とても不安なことがたくさんありましたが、私が知っている単語をならべただけの、文法もグチャグチャな英語でも理解してくれたし、学校の友達もできて、一緒に、昼飯を食べたり、買い物したり、最後には、タピオカをおごってくれたり、とても、シンガポールの人々はやさしくて、とても楽しい日々を過ごす事ができました。

本当にありがとうございました！